

旅行前の出発地でのPCR等検査受検状況 に関する調査について



令和3年8月
文化観光スポーツ部

調 査 概 要

調査設計

- 調 査 手 法 : ウェブ調査
- 回答対象者 : 2021年4月1日以降で沖縄に1泊以上した県外の方
- 回答エリア : 関東エリアから出発した方
 関西エリアから出発した方
 中部エリアから出発した方
 福岡県から出発した方
- 回 収 数 : 1,600
 (関東エリア400名、関西エリア400名、中部エリア400名、福岡県400名)
- 調査期間 : 2021年7月15日～19日

アンケート結果（基本属性）

基本属性

○ 性別：男性 1,094人（68.4%） 女性 506人（31.6%）

■ 男性 ■ 女性

0% 20% 40% 60% 80% 100%

全体(n=1600)

68.4

31.6

○ 年代：10代 62人（3.9%） 20代 541人（33.8%） 30代 346人（21.6%）
40代 258人（16.1%） 50代 179人（11.2%） 60代以上 214人（13.4%）

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

0% 20% 40% 60% 80% 100%

全体(n=1600)

3.9

33.8

21.6

16.1

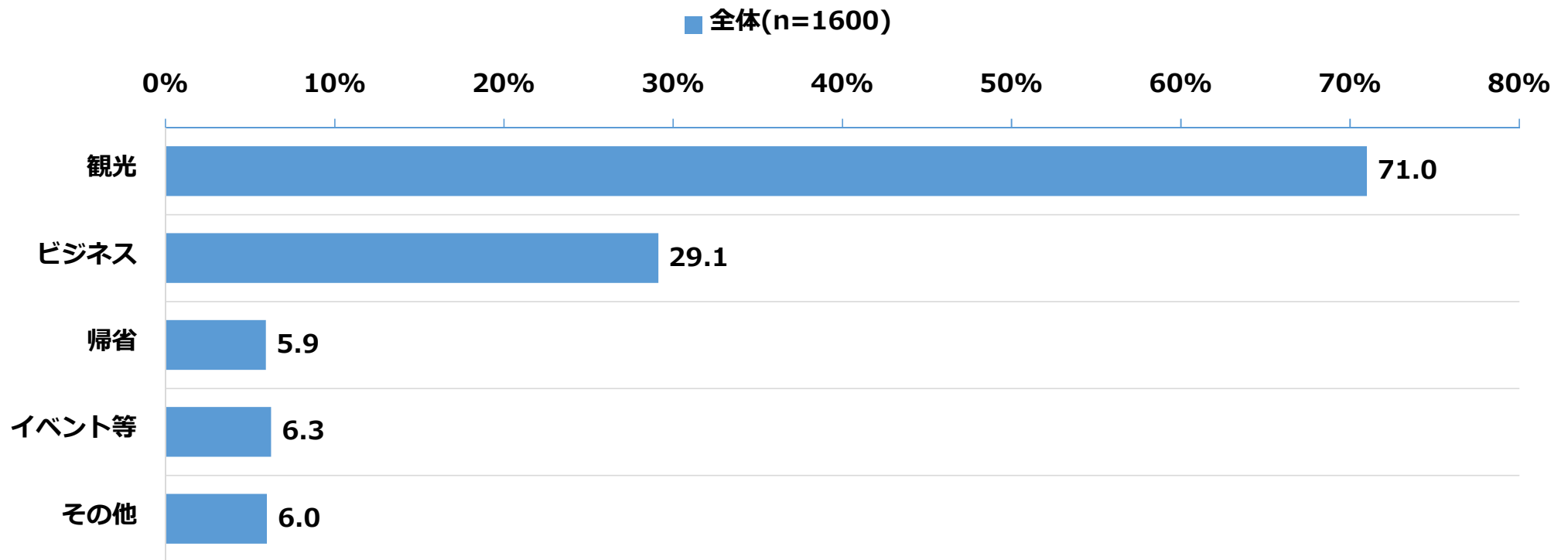
11.2

13.4

★10代～30代累計割合が59.3%と6割弱となっており、WEBアンケートであるということもあり、30代以下の比較的若い年代の回答が多くなっていると考えられる。

アンケート結果（訪問目的①）

沖縄への訪問目的（全体）

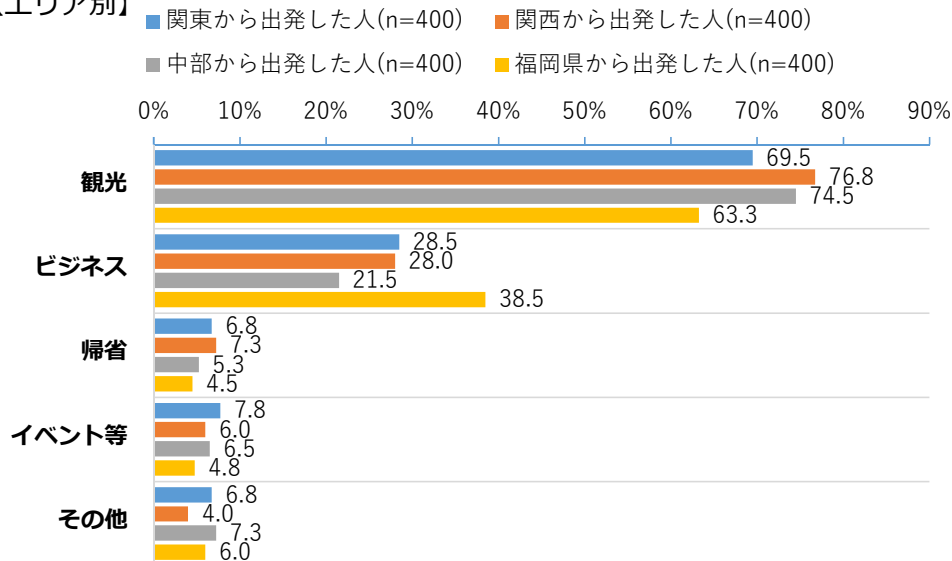


★全体では、「観光」が71.0%で最も高く、次いで「ビジネス」が29.1%で続く。

アンケート結果（訪問目的②）

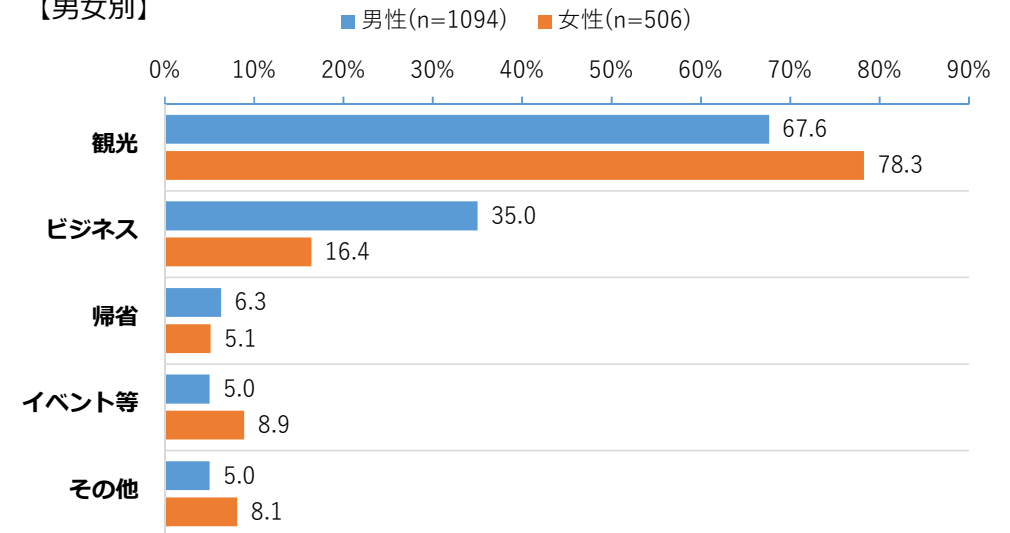
沖縄への訪問目的（エリア別・男女別）

【エリア別】



★福岡からはビジネスでの来県が多いことから、周知については通勤者の多い電車広告の活用や、事業者や業界団体への周知等も効果的と考えられる。

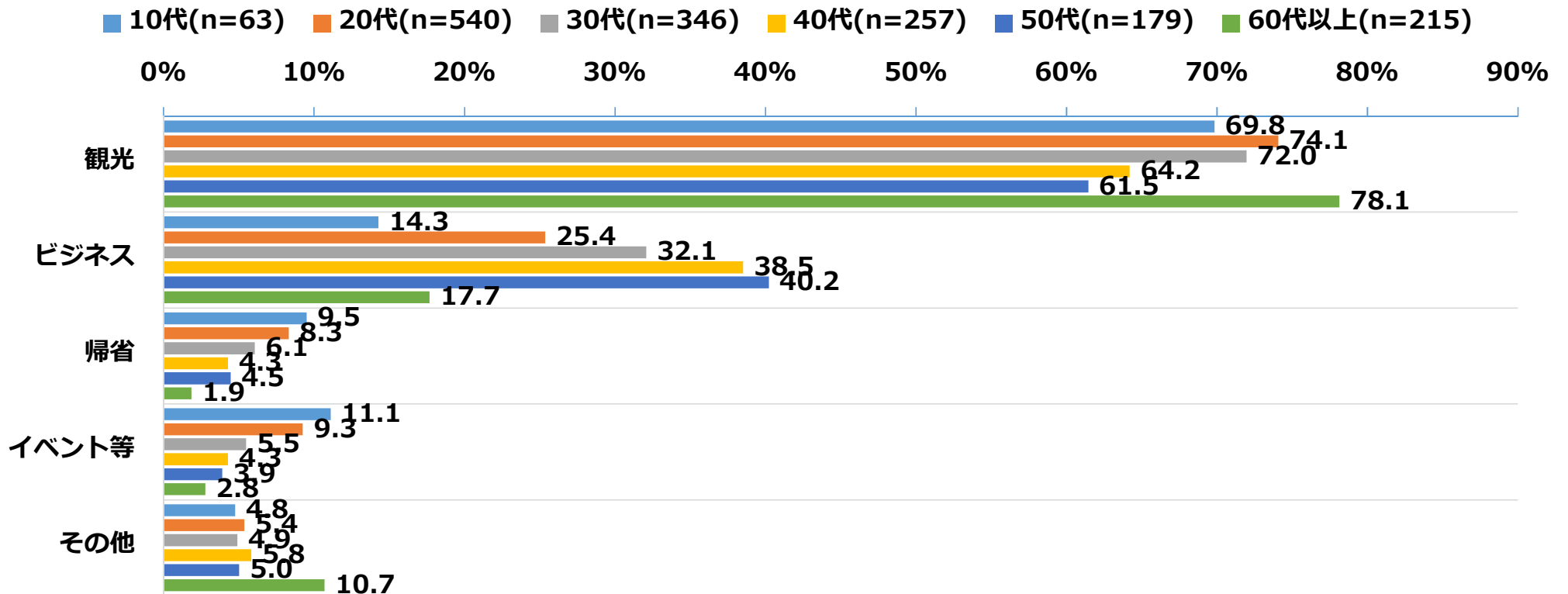
【男女別】



★性別で比較するとビジネスでの来訪割合については男性が女性の2倍以上と多いこと、観光での来訪については女性が男性を10%以上回っているということを踏まえ、企業・団体等への周知では男性視点も意識し、航空会社や旅行会社等を通じた周知では女性視点も意識し広報を実施していく必要がある。

アンケート結果（訪問目的③）

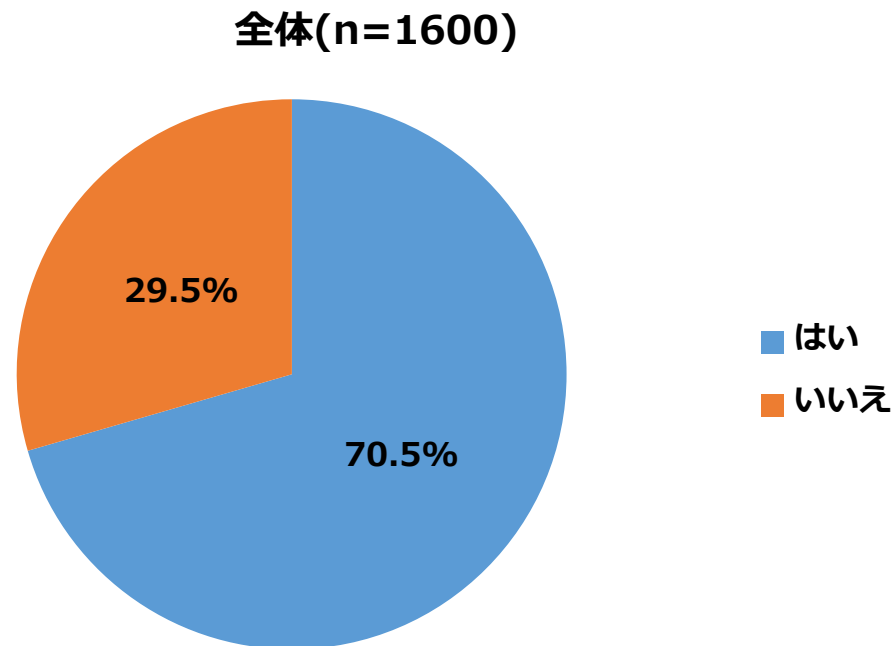
沖縄への訪問目的（世代別）



★世代別の内訳について、観光では20代、30代、60代以上の割合が高く、ビジネスでは30代、40代、50代が高い結果となっている。

アンケート結果（事前検査推奨認知度①）

沖縄県による出発地での事前の検査推奨に係る認知（全体）



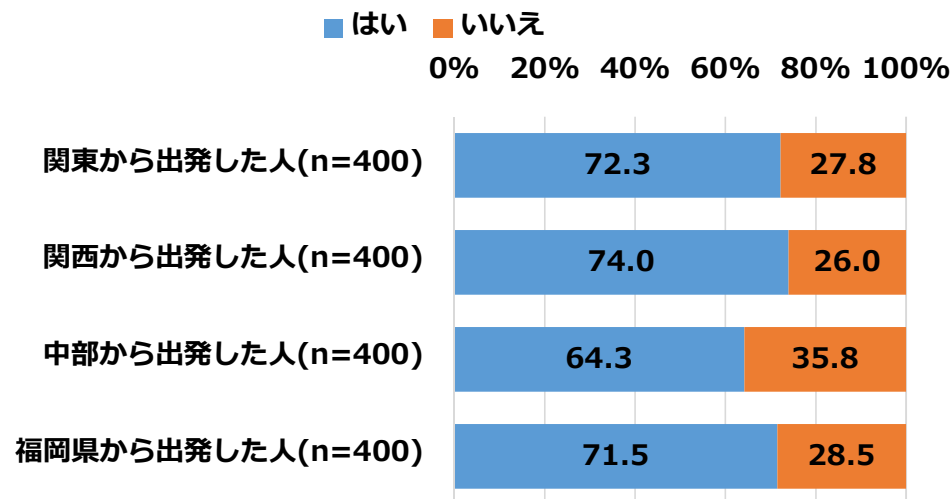
★「認知している（知っている）」が70.5%で、「認知していない（知らない）」より高い。

沖縄県が出発地での事前検査の受検を呼びかけていることについて、約7割が認知しているものの、約3割は認知していないことから、目的別・エリア別・年代別できめ細やかな周知広報の手段や方法等について検討する必要がある。

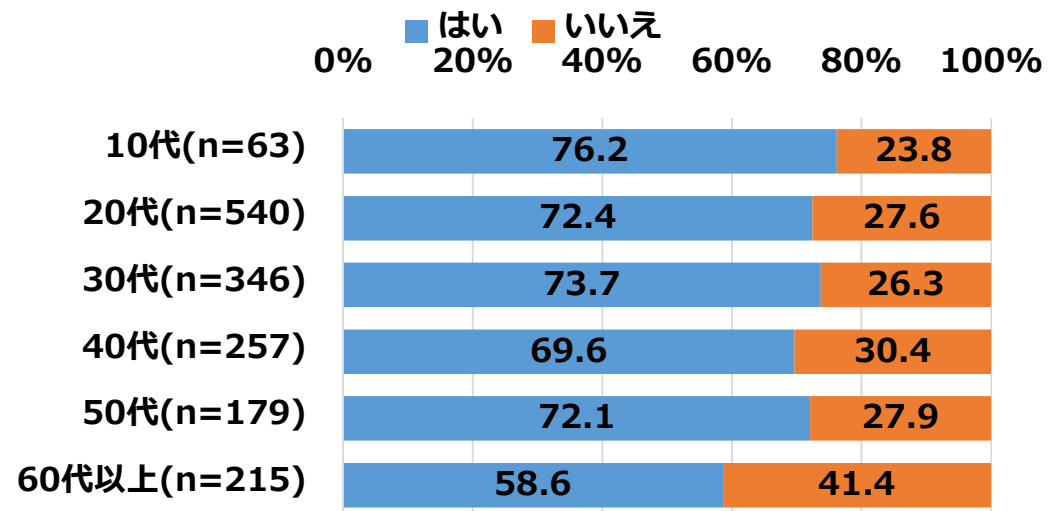
アンケート結果（事前検査推奨認知度②）

沖縄県による出発地での事前の検査推奨に係る認知（エリア別・年代別）

【エリア別】



【年代別】

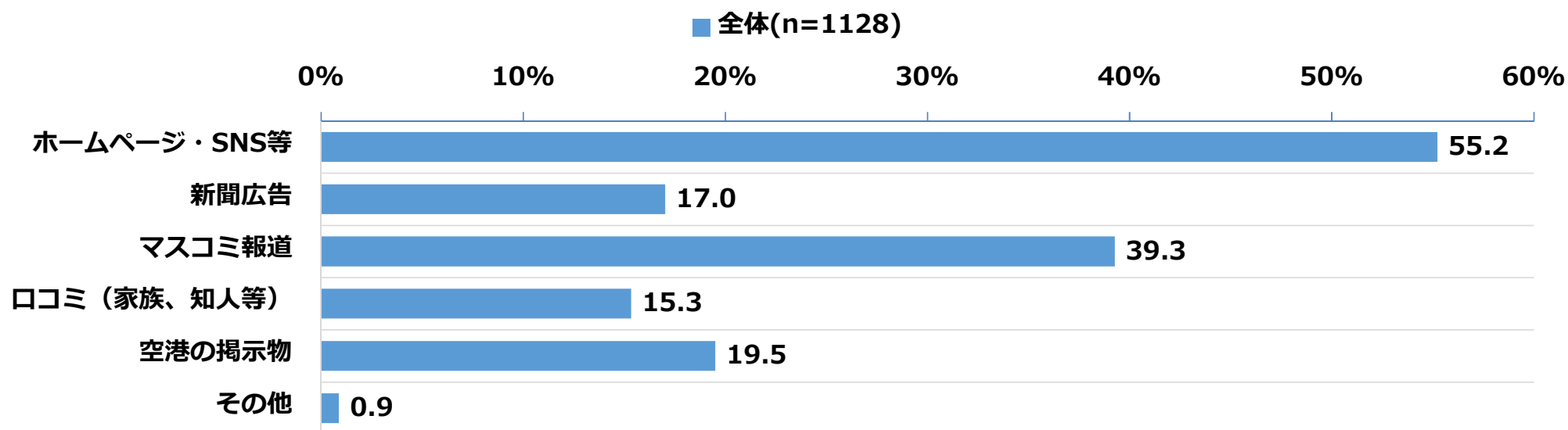


★中部エリアにおける認知度が低いため同エリアにおける周知広報を強化する必要がある。

★60代以上の認知度が低くなっている。
他年代と比較すると60代以上はマスコミ報道や口コミで検査推奨を知った割合が高くなっているため、
（スライド8参照）ワクチン接種率等の状況も踏まえ、
マスコミを活用した呼びかけが必要と考えられる。

アンケート結果（事前検査推奨認知経路①）

沖縄県による出発地での事前の検査推奨に係る認知経路（全体）

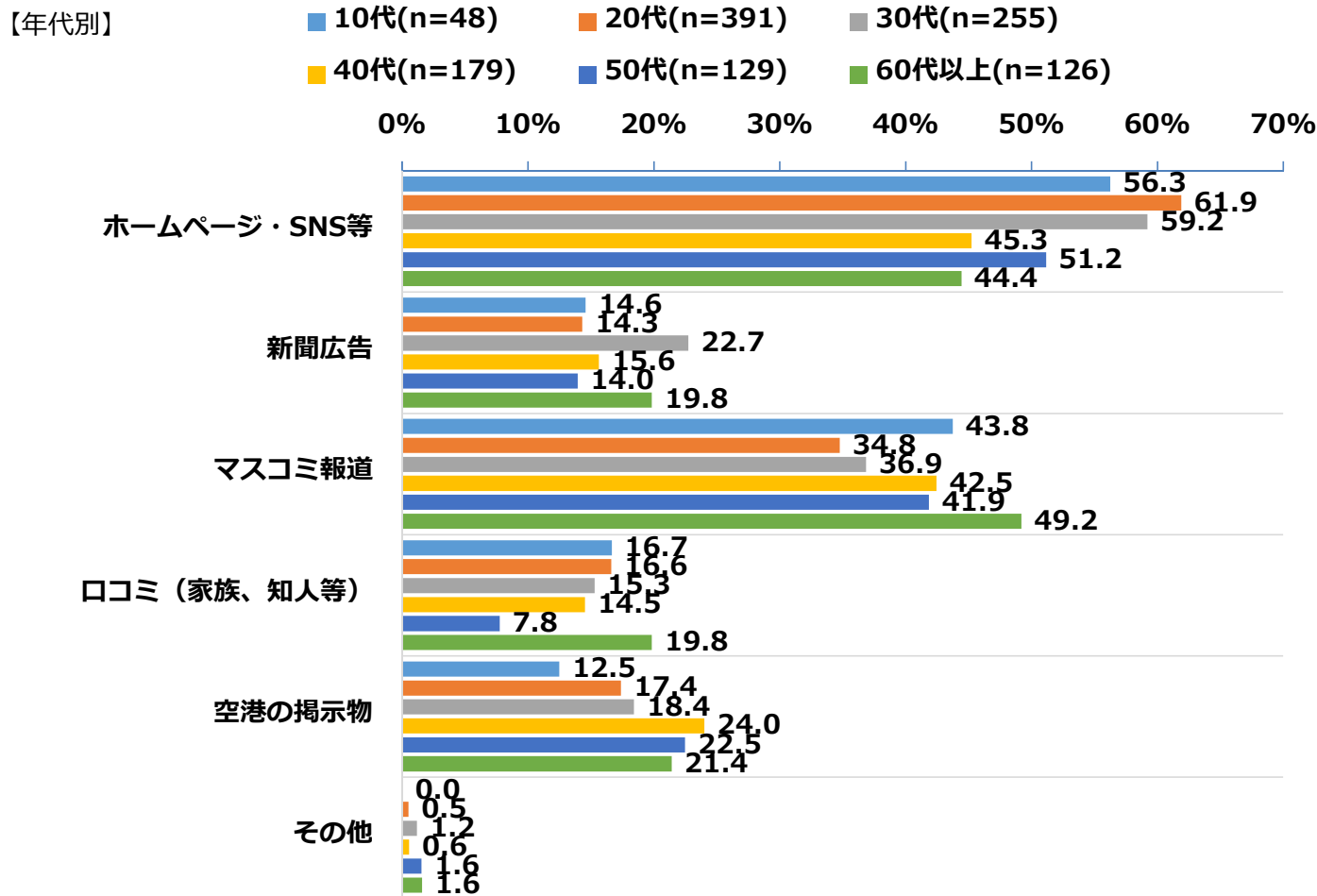


★WEBによるアンケート調査ということもあり、ホームページ・SNS等による認知が高くなっていると考えられる。

マスコミ報道による認知度も高くなっており、知事の全国メディアへの出演等による情報発信の効果が高いことが伺えるため、引き続きメディア出演等による呼びかけが必要である。

アンケート結果（事前検査推奨認知経路②）

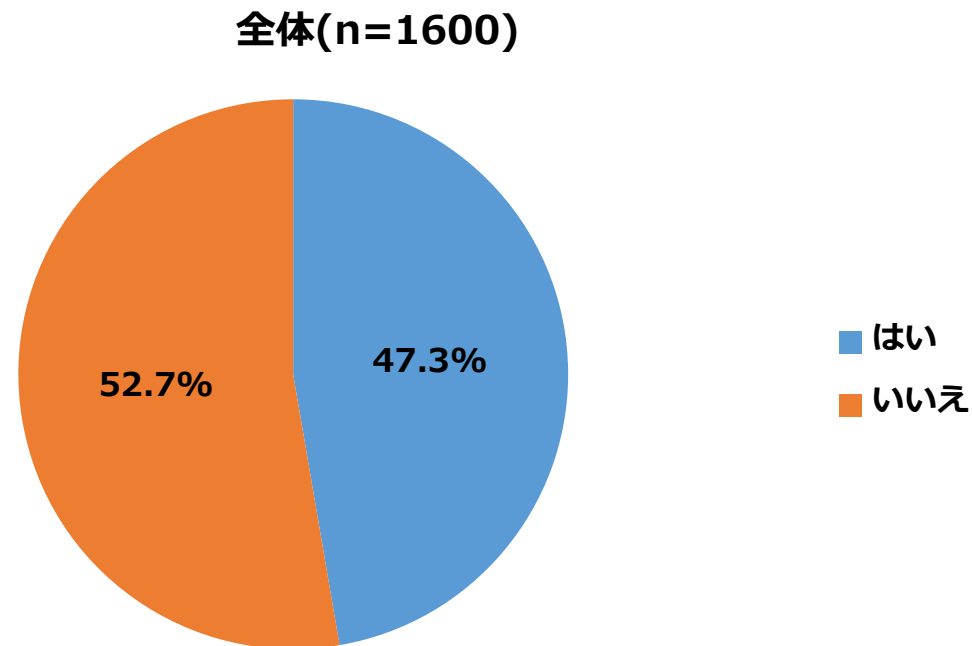
沖縄県による出発地での事前の検査推奨に係る認知経路（年代別）



★今回の調査で受検率が低い結果となっている40代以上について（スライド10参照）、他年代と比較した場合新聞広告、マスコミ報道、空港掲示物での認知が高くなっているため、これらの層に対する周知広報として、マスコミにも働きかけながら、新聞広告・空港掲示物による周知を実施する必要がある。

アンケート結果（事前検査受検の有無①）

出発地での事前の検査受検の有無（全体）

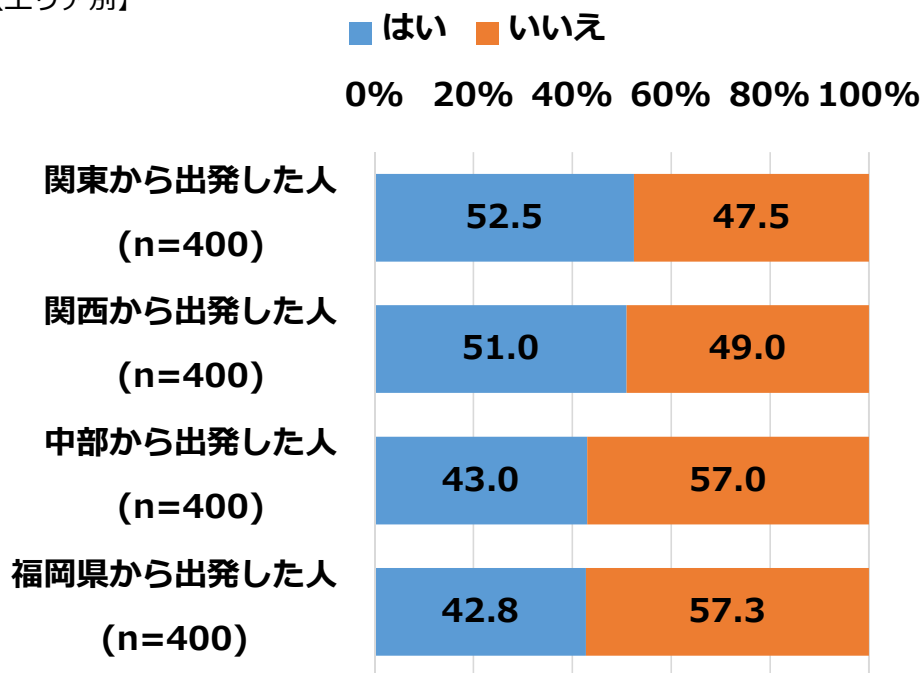


★全体の受検率が半数に届いていないため、無料の搭乗前モニタリング検査の強化拡充を国に求めるとともに、国、県、事業者が連携して出発前検査の受検推奨に係る周知広報を徹底する必要がある。

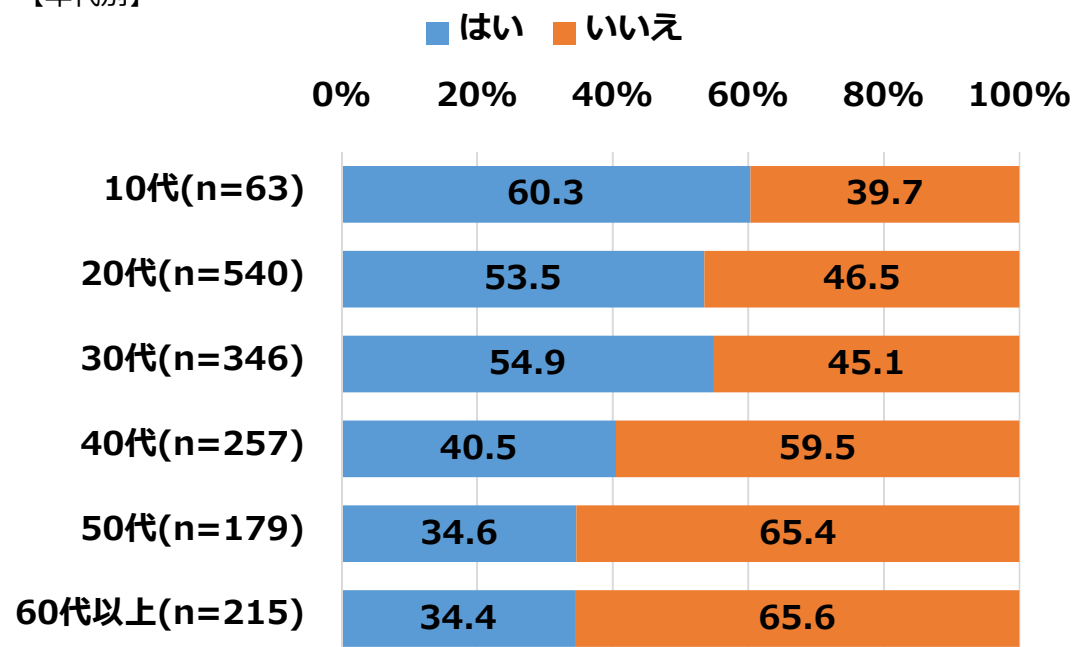
アンケート結果（事前検査受検の有無②）

出発地での事前の検査受検の有無（エリア別、年代別）

【エリア別】



【年代別】

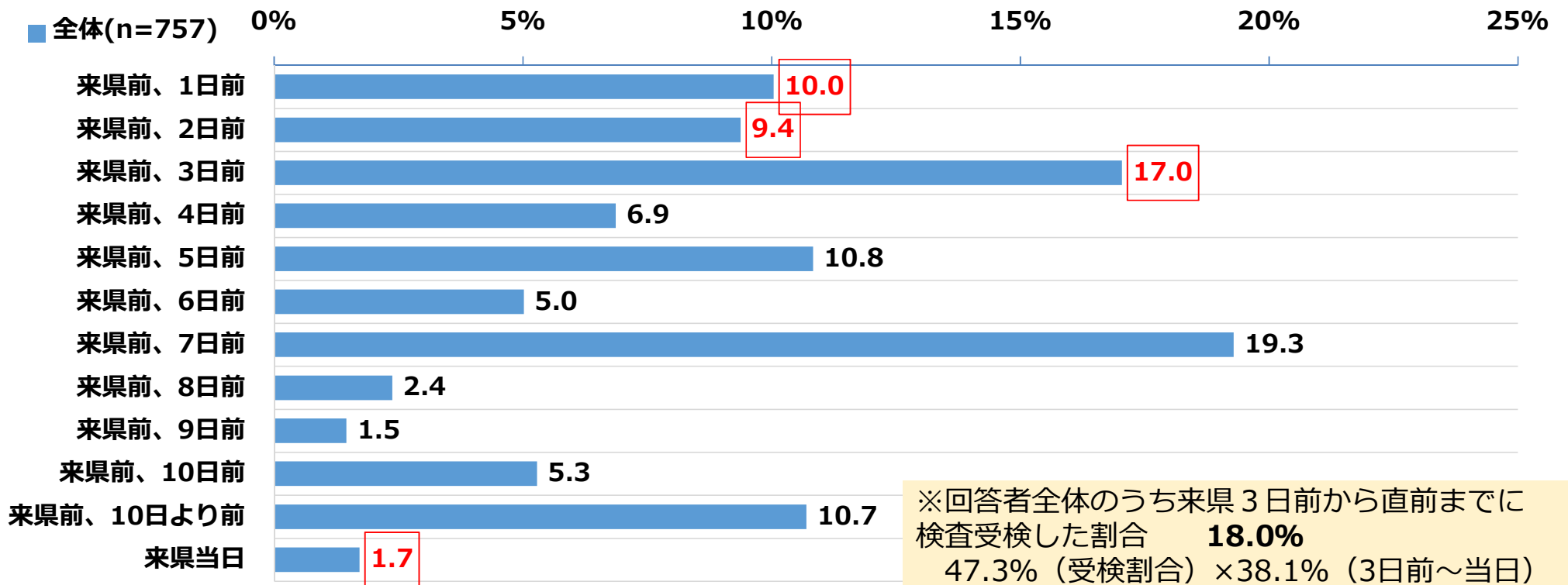


★中部、福岡エリアにおける受検率が比較的低いため、受検しなかった理由に応じ周知内容・方法を見直す必要がある。

★40代以上の受検率が低くなっている傾向があるが、年代が高くなるほどワクチン接種率が高くなるため、ワクチン接種状況や受検しなかった理由を踏まえ、30代、40代、50代をターゲットに、効果的な周知方法を検討する必要がある。

アンケート結果（検査受検時期）

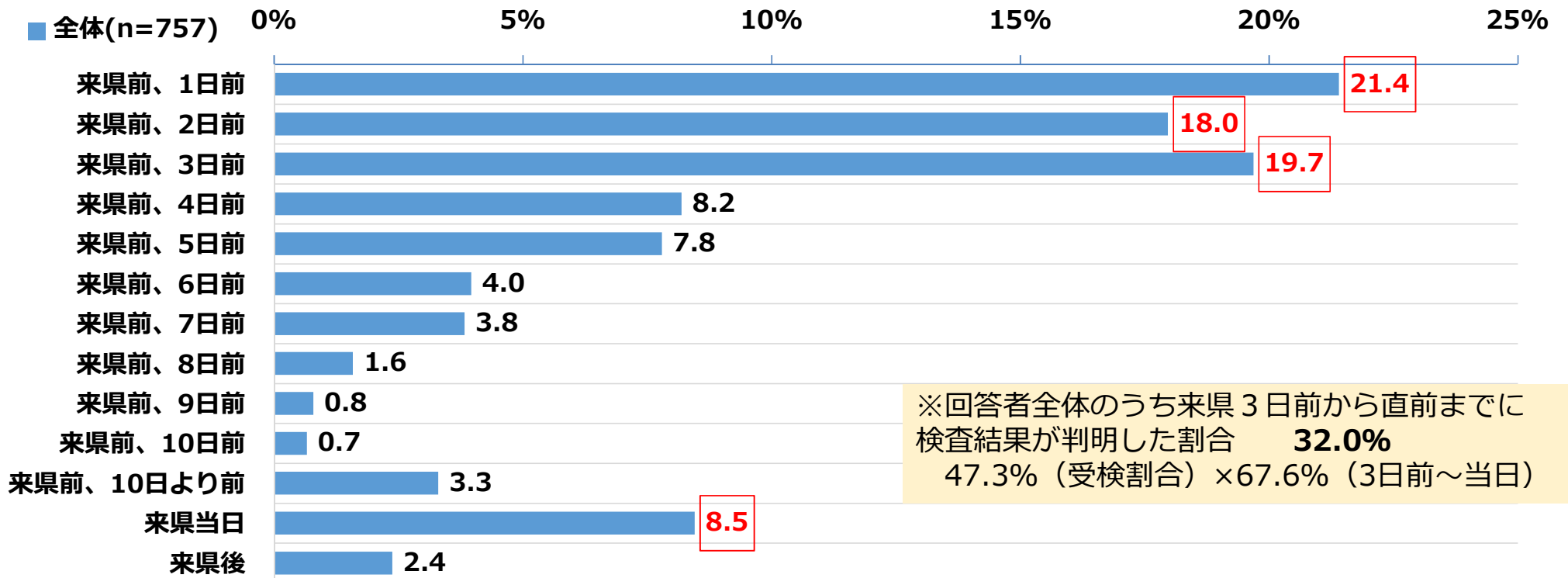
検査受検の時期（全体）



★県が推奨する3日前から直前までの受検割合は38.1%（回答者全体の中では18.0%※）と低いため、周知広報の強化や国の無料検査について拡充の要請を行う必要がある。

アンケート結果（結果判明時期）

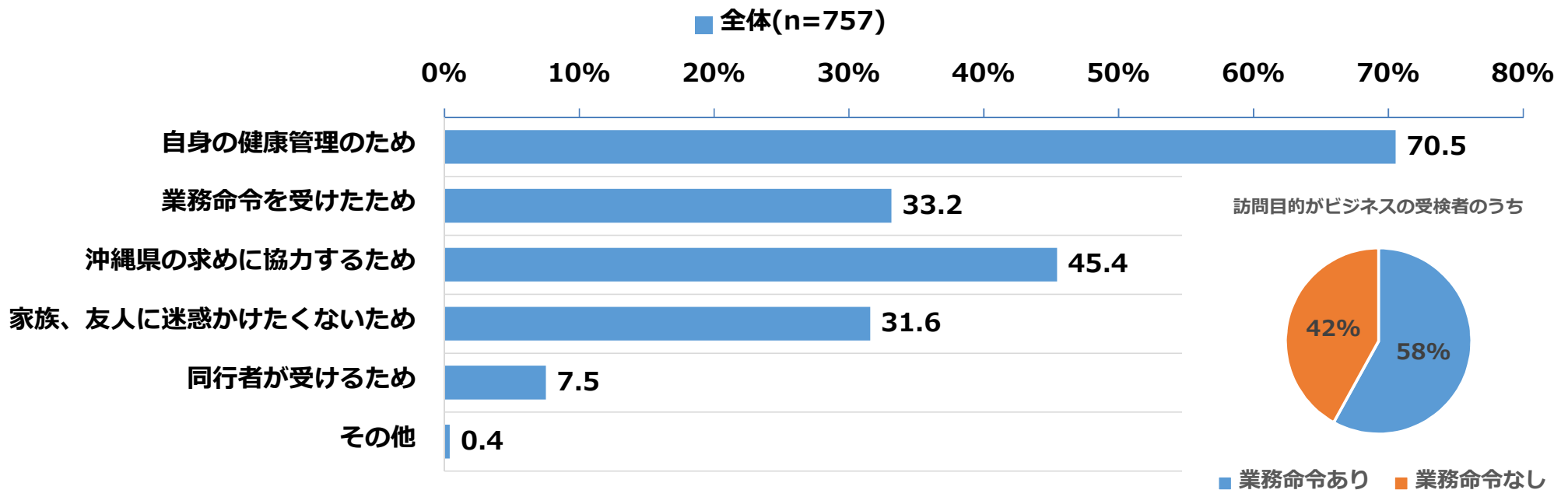
検査結果判明の時期（全体）



★来県3日前から当日までに結果が判明したという割合は67.6%（回答全体の32.0%※）となっている。
 来県の8日前以前や来県当日、来県後に結果が判明したという割合は17.3%となっている。
 受検の周知広報とともに、「来県3日前から直前までに陰性判定を受ける」という内容も強調して周知
 する必要がある。

アンケート結果（検査受検の理由）

検査受検の理由（全体）

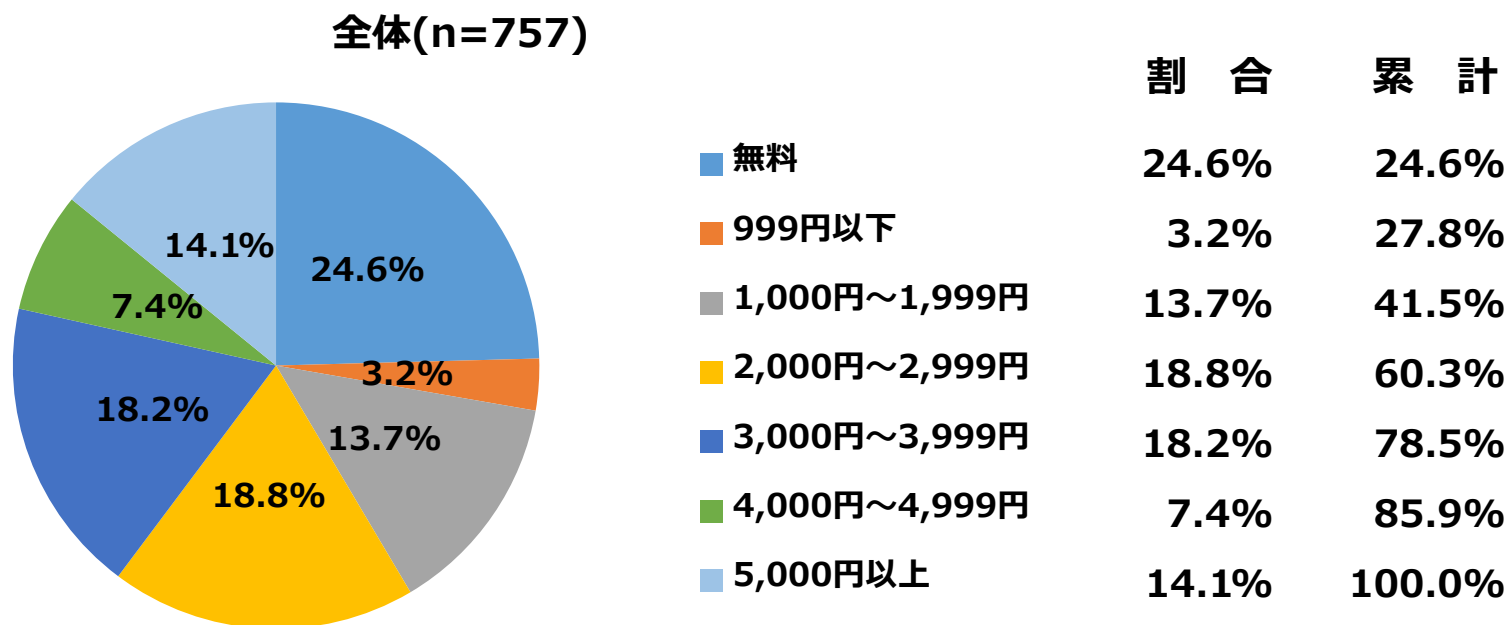


★沖縄県の求めに協力するため検査を受検したという理由が2番目に高く5割弱いることから、協力の求め方、周知の仕方を改善すればさらに受検率を向上させることができると考えられる。

また、訪問目的がビジネスで事前検査を受けた者の中で、業務命令を受けたという割合は6割弱（58%）に留まっていることから、企業・事業者呼びかけて受検率を高めることができると思われる。

アンケート結果（受検した検査料金①）

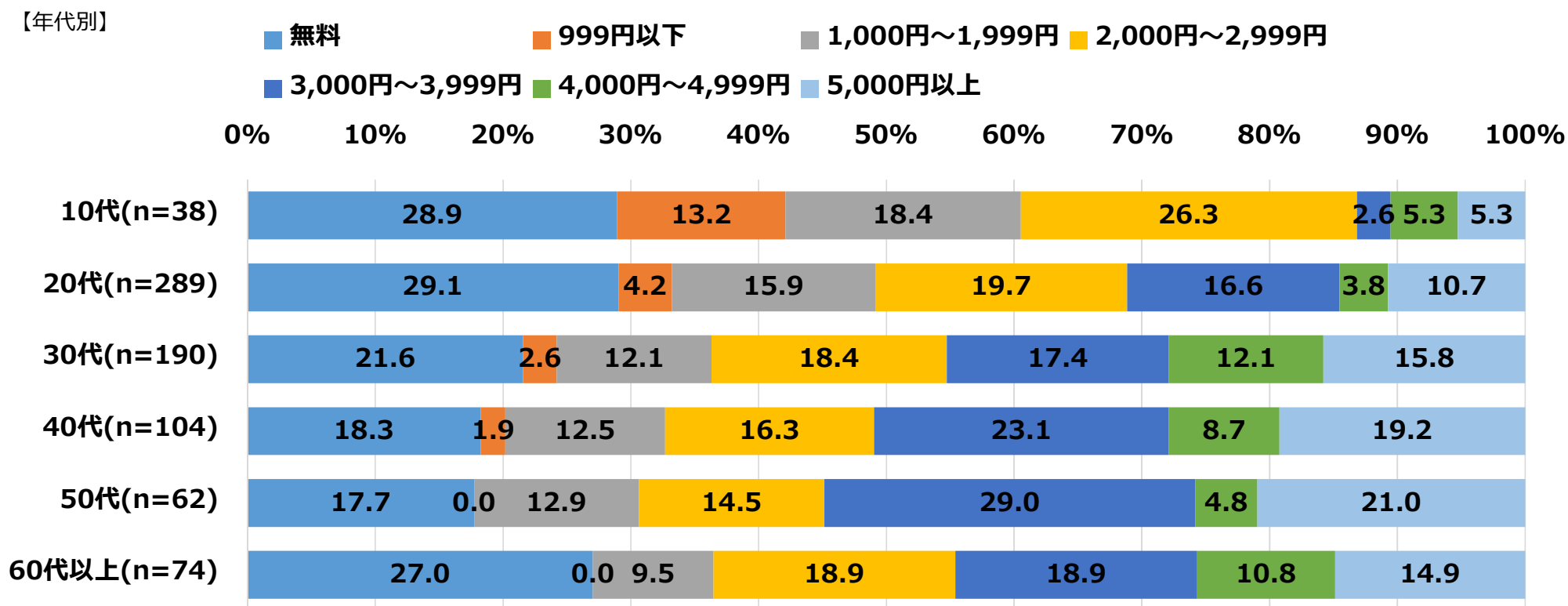
事前に受検した検査の料金（全体）



★3,000円未満で検査を受けた割合が累計で60.3%、5,000円未満だと85.9%と出発地において比較的
低廉な価格で検査が受けられる環境が整っていることが伺える。

アンケート結果（受検した検査料金②）

事前に受検した検査の料金（年代別）



★10代、20代の若年層は安価な検査料金の検査を受検しており、この年代の受検率を上げるためには無料の検査実施または低廉な価格での検査提供が必要である。

アンケート結果（訪問目的の事前検査認知率及び受検率）

訪問目的別の事前検査推奨認知率及び検査受検率

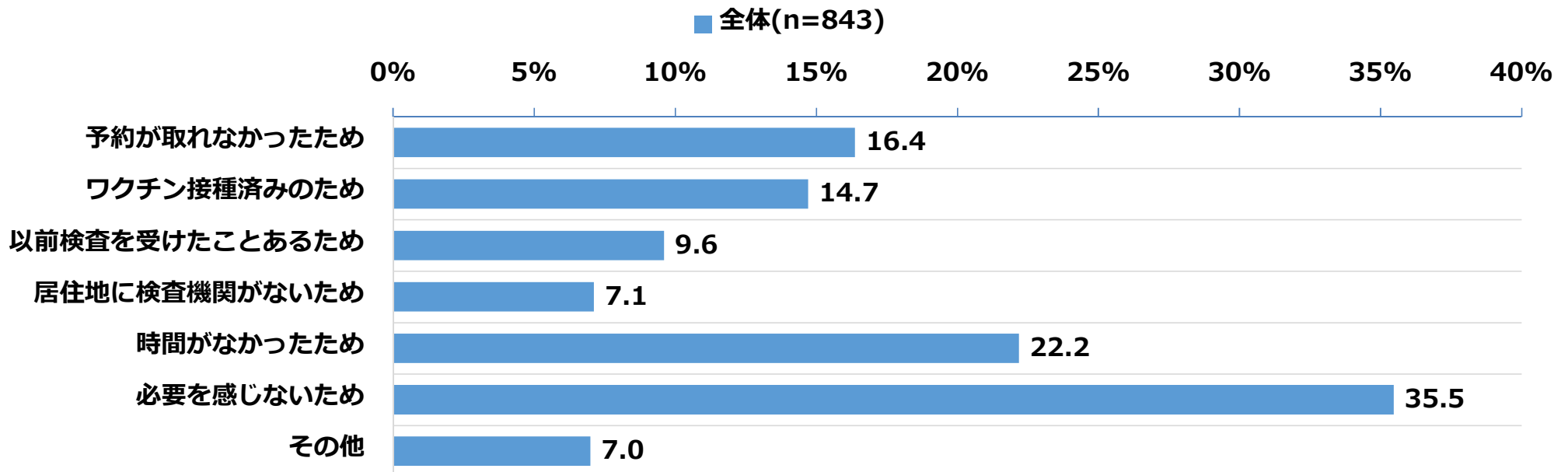
【訪問目的×認知】				【訪問目的×受検】		
	割合	回答数			割合	回答数
観光×認知	69.6%	791	-23.5%	観光×受検	46.1%	524
観光×非認知	30.4%	345		観光×非受検	53.9%	612
	100.0%	1136			100.0%	1136
	割合	回答数			割合	回答数
ビジネス×認知	79.4%	370	-20.6%	ビジネス×受検	58.8%	274
ビジネス×非認知	20.6%	96		ビジネス×非受検	41.2%	192
	100.0%	466			100.0%	466
	割合	回答数			割合	回答数
帰省×認知	85.3%	81	-16.9%	帰省×受検	68.4%	65
帰省×非認知	14.7%	14		帰省×非受検	31.6%	30
	100.0%	95			100.0%	95
	割合	回答数			割合	回答数
イベント×認知	75.0%	75	-17.0%	イベント×受検	58.0%	58
イベント×非認知	25.0%	25		イベント×非受検	42.0%	42
	100.0%	100			100.0%	100

★沖縄県が出發地での事前検査を推奨していることについて、訪問目的別では、帰省が最も認知度が高く85.3%、ビジネスの79.4%と続き、観光は69.6%と他と比較すると低くなっている。

訪問目的別の検査受検状況についても、帰省が最も受検率が高く68.4%となっており、ビジネスの58.8%、観光は46.1%と他と比較すると低くなっているため、観光目的で来訪する層に向けた周知の強化・徹底が必要である。

アンケート結果（検査を受検しなかった理由①）

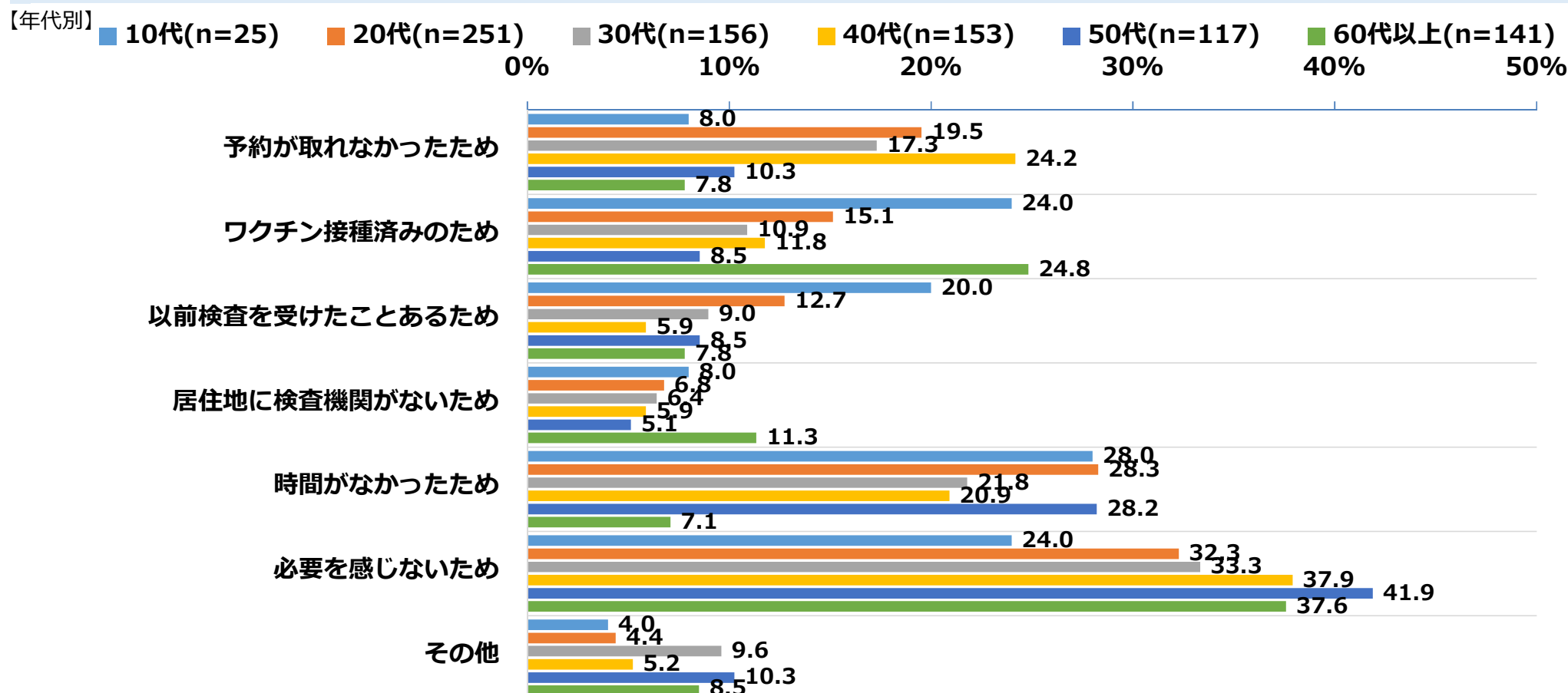
出発地での事前の検査を受検しなかった理由（全体）



★必要を感じないためという理由には必要性を感じさせる訴求方法（業務命令、沖縄県の協力の求め方）を改善すること、時間がないや予約が取れないという理由に対しては検査枠の拡充等により対応ができるものと考えられるため、周知手法の検討や国への要請等により実現を図っていく必要がある。

アンケート結果（検査を受検しなかった理由②）

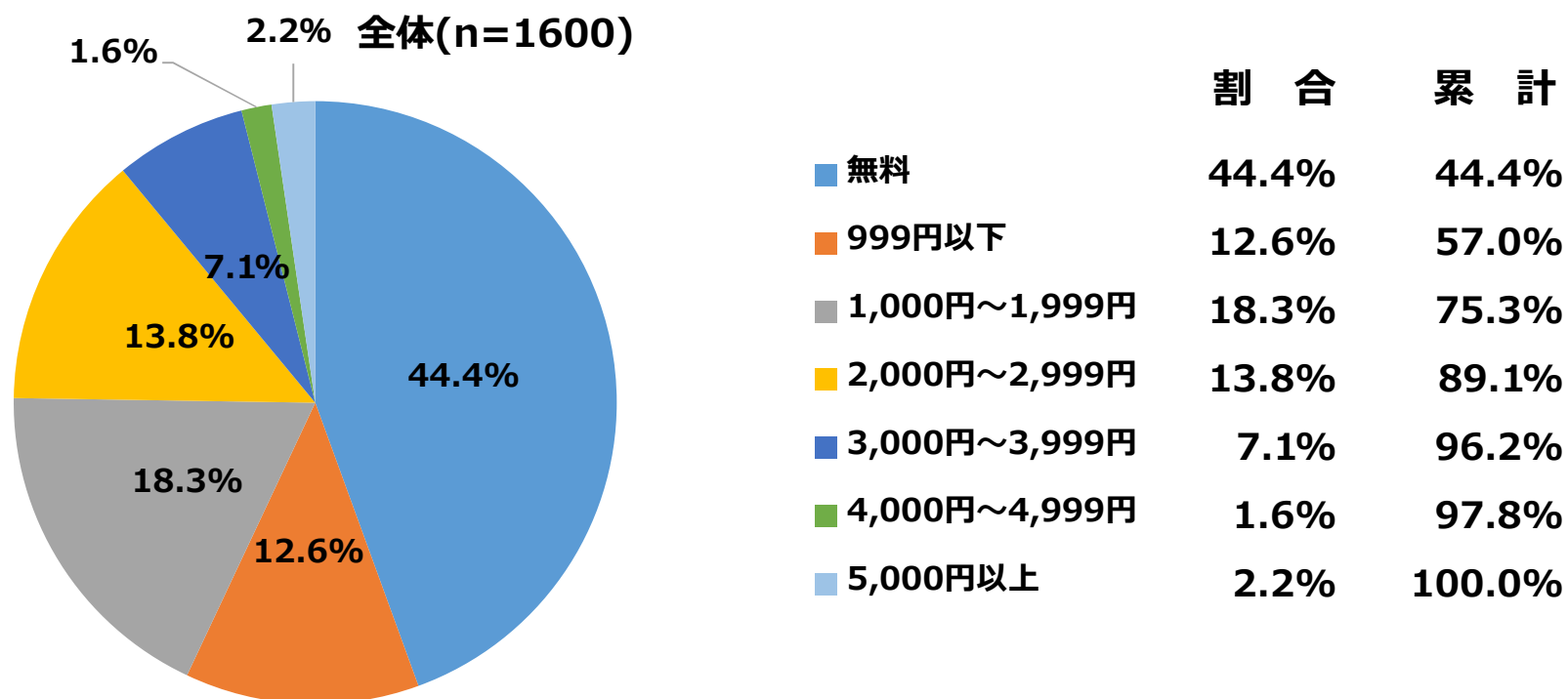
出発地での事前の検査を受検しなかった理由（年代別）



★40代、50代、60代以上で必要性を感じていない割合が高いため、これらの世代に効果的な訴求が必要である。

アンケート結果（希望する検査料金①）

希望する検査の料金（全体）



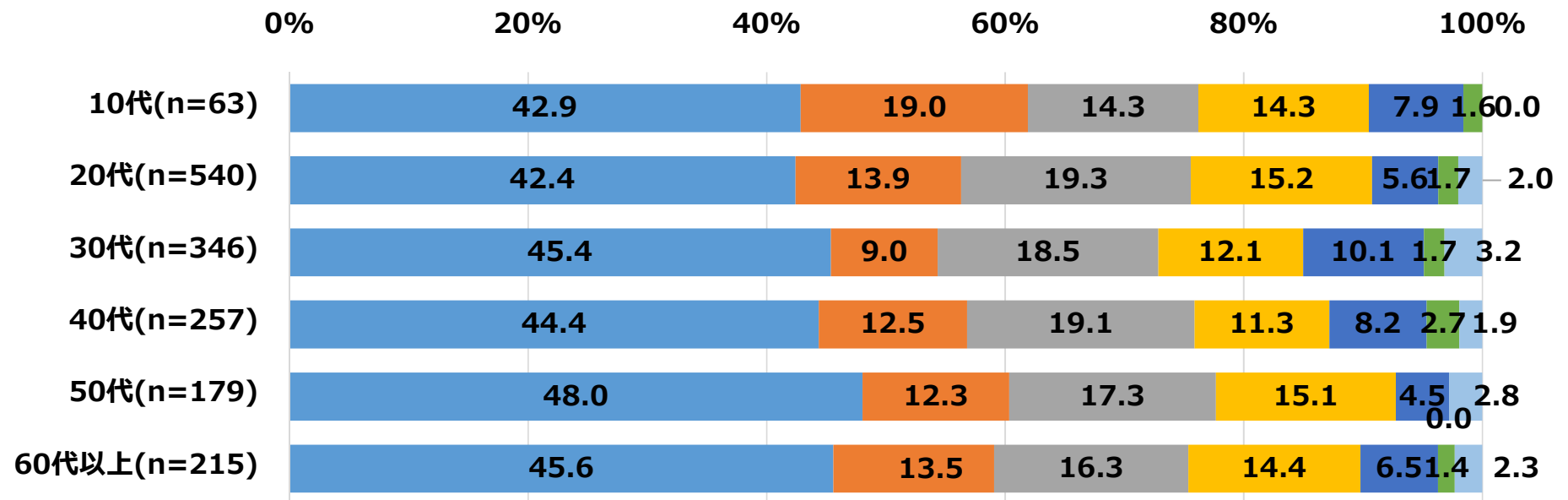
★2,000円未満の検査費用を希望する割合が累計で75.3%、3,000円未満だと89.1%、4,000円未満だと96.2%であることから、出発地での検査は4,000円未満であることが求められていると考えられる。

アンケート結果（希望する検査料金②）

希望する検査の料金（世代別）

【年代別】

■ 無料 ■ 999円以下 ■ 1,000円～1,999円 ■ 2,000円～2,999円 ■ 3,000円～3,999円 ■ 4,000円～4,999円 ■ 5,000円以上

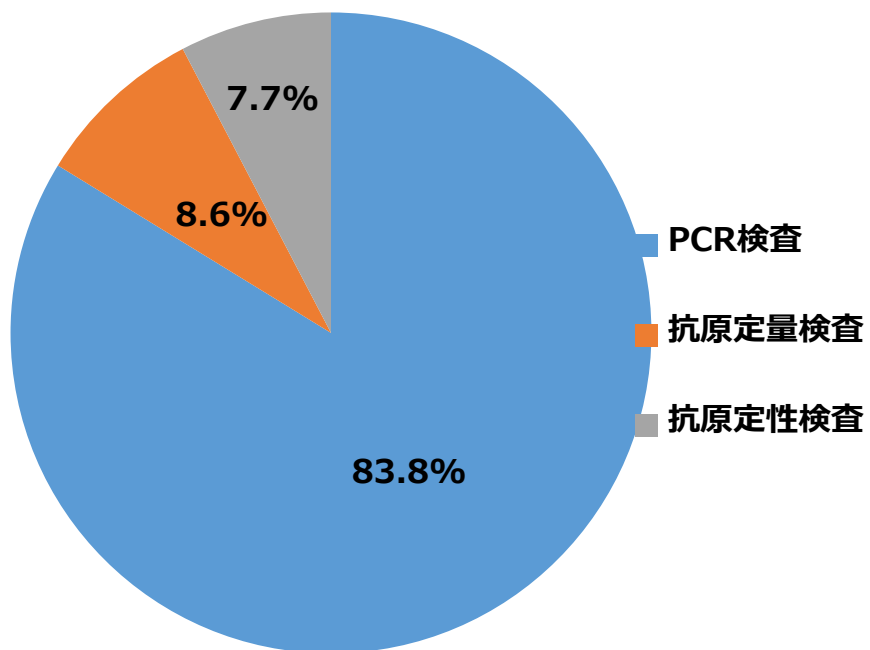


★実際に検査を受けた料金について、10代、20代は低価格帯が多く（スライド16参照）、それ以外の世代では10代、20代と比較して高めの価格帯での受検も多かったが、希望する検査費用に関しては、年代による大きな差異は認められないため（スライド15参照）、30代以上については、多少費用が希望額より高くても受検するという傾向があると考えられる。

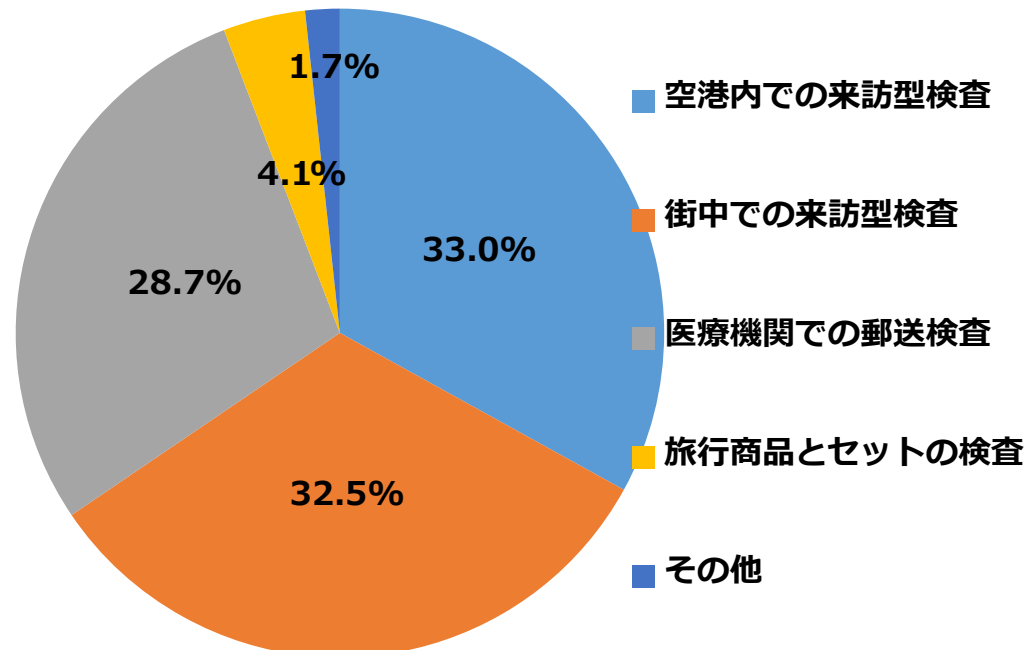
アンケート結果（検査の種類及び受検場所）

出発地での事前に受検した検査の種類及び検査場所（全体）

全体(n=757)



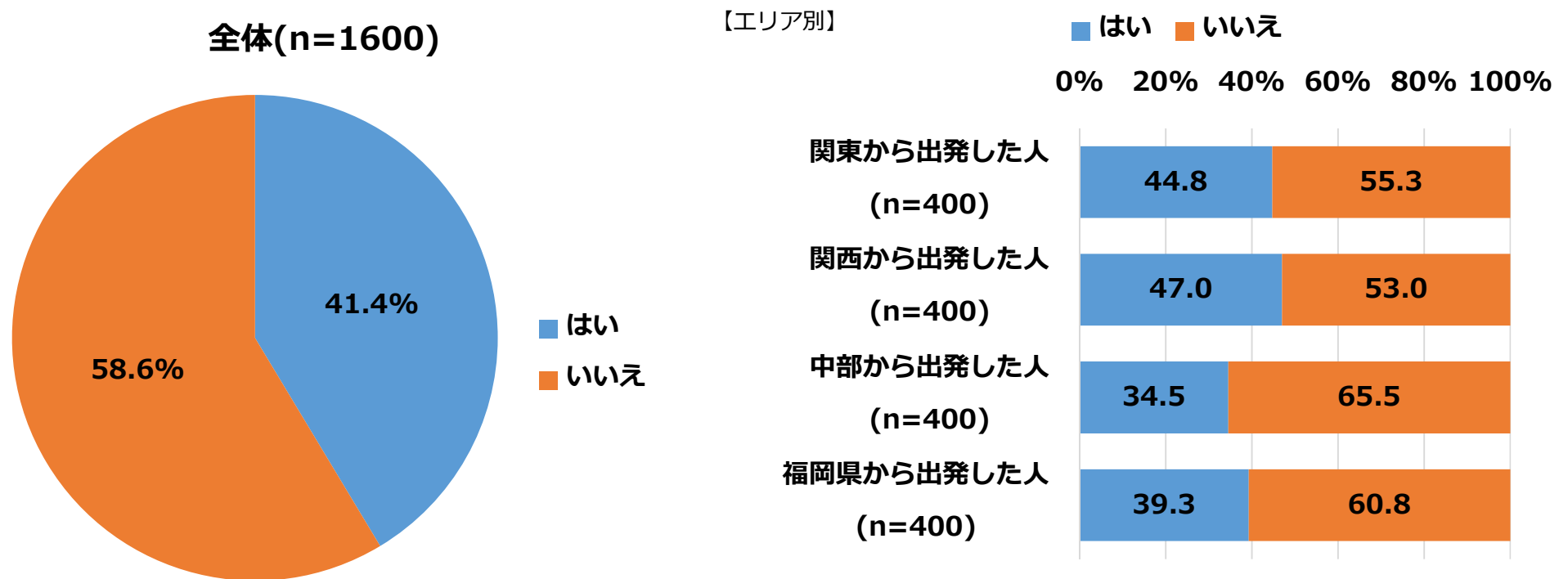
全体(n=757)



★検査の種類は約8割とPCR検査がかなりの割合を占めている。
検査場所は空港内検査場、街中の検査場、郵送検査がそれぞれ3割前後となっている。

アンケート結果（県内空港等検査体制認知度）

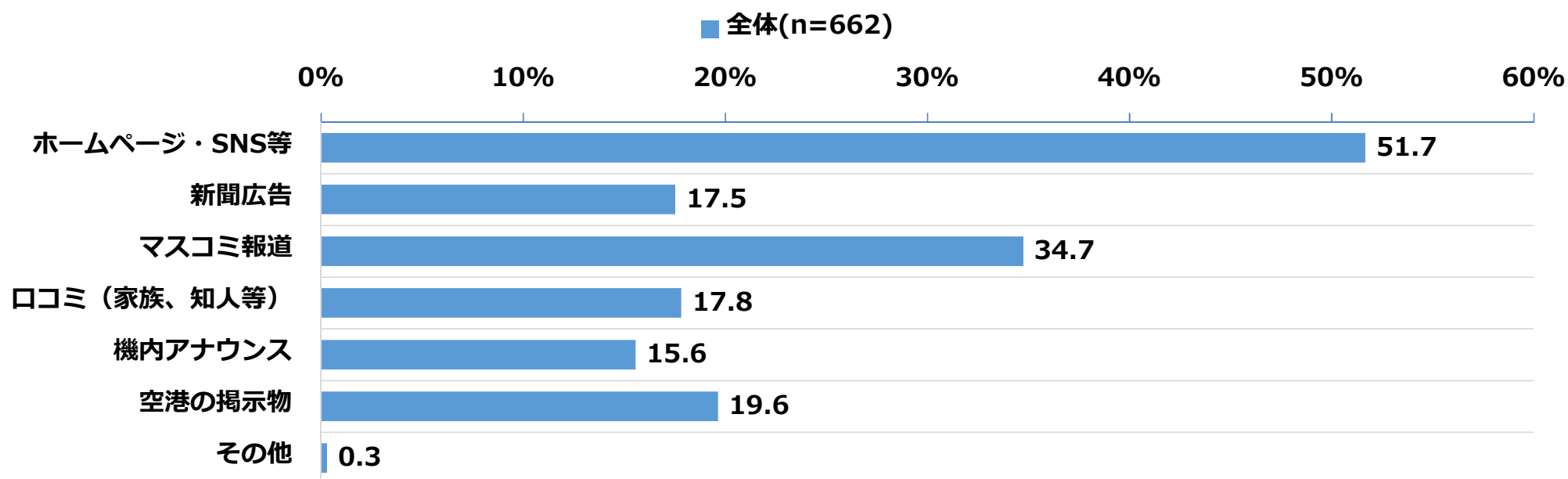
那覇空港及び離島空港でPCR検査ができることの認知（全体・エリア別）



★出発前の事前検査よりも認知度が低いため、広報を強化する必要がある。
県内空港検査の場合、出発した後でも広報の機会があるため、機内アナウンス（5月～）、空港内看板・フラッグ掲示（7月～）で広報を強化しているが、出発地における事前検査と合わせてさらに情報発信を強化し、特に中部、福岡エリアについて空港や航空会社と連携して周知広報を行う必要がある。

アンケート結果（県内空港等検査体制認知経路）

那覇空港及び離島空港でPCR検査ができることの認知経路（全体）



★ 認知経路は出発前の事前検査のものとほぼ同様の結果であることから、出発前の事前検査と県内空港での検査体制について双方合わせて周知広報を強化する必要がある。

【今後の調査実施について】
国の搭乗前モニタリング検査の効果捕捉と時系列の変化による分析を試みるため、
9月上旬に調査実施を予定している。